

飛島村総合教育会議

議事録

令和6年度第1回

令和6年7月31日開催

飛島村教育委員会

令和6年度第1回飛島村総合教育会議 議事録（要旨）

《招集年月日》 令和6年7月31日（水）

《招集の場所》 飛島村役場 3階 第1委員会室

《開会》 午後3時00分

《閉会》 午後3時57分

《構成員》	村長	加藤光彦
	教育長	萩野登記代
	教育長職務代理者	服部泰憲
	委員	太田園絵
	委員	多田裕美

《出席した職員》

副村長	佐野徹
総務部長	加藤義彦
開発部長	山田由樹
民生部長	福谷晶
教育課長	成田雅恵
生涯教育課長	伊藤澄雄
教育課主幹	五島正和
生涯教育課係長	佐藤成
教育課主任	奥村義明

《欠席者》 なし

《傍聴者》 なし

《資料》 ICT機器の着実な更新について
実りある英語教育の実現に向けて
休日部活動の地域移行について
文化協会・スポーツ協会の活性化について

《会議内容及び経過》

別紙のとおり

別紙

《会議内容及び経過》

開 会

<事務局（教育課長）>

定刻になりましたので、只今より飛島村総合教育会議を開催します。

本日の資料は、事前に送付させていただきました資料となります。

この会議は、飛島村総合教育会議設置要綱第6条の規定により公開となります。また、会議の議事録を作成いたしまして、ホームページで公表させていただきますので、よろしくお願いたします。

それでは、開会にあたり村長からご挨拶をお願いします。

1 村長あいさつ

皆さんこんにちは。大変お忙しい中、第1回総合教育会議にご出席をいただきましてありがとうございます。今世の中では、日本人が活躍しているということもあり、オリンピックの話題で、非常に盛り上がっていると思います。私も夜中に目が覚めると、テレビにスイッチを入れて、ライブで競技を見ております。それともう一つ明るい話題として、御存じの方もみえると思いますが、高校野球で初めて飛島村から甲子園に出場する子がいます。三重県の菰野高校でキャッチャーをしています。高校野球の全国大会、甲子園に出ることが決まりましたので、ご報告させていただきます。

そして、昨日、愛知県の町村長セミナーに出席し、他の自治体の首長さんと話をする機会がありました。今日の協議事項の中で、休日部活動の地域移行がありますが、このことについて少しお話をさせていただきました。他地域ではなかなか難航しているという状況で、その理由として、中学生が1,000人もいて、とても対応出来ないという町長さんがおみえでしたし、やりたくても財政的に苦しくて出来ないということで、非常に戸惑っておられるという話を聞きました。飛島村の場合は、子どもの数も少ないし、財政的にも余裕があるということで、よその市町よりも早く、事業が進んでいる状況で、飛島村のこの地域性、特性、優位性、いろいろなことで先にいけるというアドバンテージが飛島村にはあるということを確認しました。

今後いろいろな事業において、地域移行ばかりじゃなくて他の事業も、飛島村だからできることがかなりあると思います。そういった飛島村の優位性を十分に活用して進めていきたいです。今日の会議は、協議事項も報告事項もいろいろありますが、皆さまからいろいろご意見を賜りまして、参考にさせていただき、今後の村政運営に反映させていただこうと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<事務局（教育課長）>

ありがとうございました。

それでは、ここからの進行は、この会の会長であります村長をお願いします。

<議長（村長）>

2番、協議事項（1）の「ICT機器の着実な更新について」事務局より説明をお願いします。

2 協議事項

（1）ICT機器の着実な更新について

<教育課課長>説明

<議長（村長）>

ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありますか。

<服部教育委員>

生徒の端末については、県の共同調達があって、全ての学校が同じ機種を選んで購入するのですか。本村は、今使ってるものと同じものを購入できるのですか。

<事務局（教育課長）>

全ての学校が同じ機種になるということではなく、市町村が希望する端末を県が取りまとめて一括調達するという形になっております。飛島村の場合ですと、Chrome OSというものを使っていますが、他の自治体ではWindowsやiPadを使っている自治体もあります。それぞれの希望を県が聞いて、希望する端末をどう調達していくかという調整会議になります。一括調達できるので、コストを抑えていけるというメリットがあります。

<服部教育委員>

更新機器について、リースでやっていくということですが、修繕もプラスされたリース契約でよろしいですか。

<事務局（教育課長）>

その予定です。

<服部教育委員>

以前、予算を減らすために修繕が契約に入っていないくて、結局はすごく困ったという自治体があったと聞きました。「壊れたけどすぐ直せない」ということがないよう、修繕を含めてやってもらいたいです。もう一つ、更新ということで、飛島の子たちは、全国平均に比べて10%~20%多く、タブレットの利用をしているということですけど、持ち帰りをしているところがやっぱり大きいのかなと思います。他の自治体ですと、やっぱり家に持って帰ったりすると壊れたりする、何かおもちゃにして遊んでしまう、勝手なことをやってしまうのではないかという心配もあって、なかなか学校としては踏み切れないところが多いと聞きます。飛島は、持ち帰って使うことは、セキュリティーをきちんとやっているの、家へ持ち帰っても利用できるような環境になっていると思います。そういう形で、次期の更新をやっていけるといいな、持ち帰りができるように、セキュリティーを強くして、今までもいろいろなアプリも入っているし、今までで慣れたもので、さらに利用、管理できるといいなと思います。あと、担任の先生には機器が皆あるけれども、講師の先生等にはなかなか回ってこなかった。子どもの数が減ったから子ど

ものタブレットを先生へ渡すというのを前の学校でやっていたけど、講師の先生にも1台渡せるといいのかな。特に授業を担当している先生に関して、教員用のタブレットを講師の先生も使うなら、渡せるようにしたい。前の学校ときは、タブレットが空いたら順番に先生に渡していくから、なかなか触れない講師の人が困っていた。そういうことを、なくして行ってほしい。

海部地区で一番、パソコン、コンピュータ、タブレットを使っているのは飛島の子だと思うので、さらに環境を整えて頑張ってもらっていただけるとありがたい。

<議長（村長）>

ありがとうございました。事務局から何か答弁ありますか。よろしいですか。では、他にご意見ございませんか。ないようですので、次に、(2)「実りある英語教育の実現に向けて」について説明を事務局からお願いします。

(2)「実りある英語教育の実現に向けて」について

<教育課主幹>説明

<議長（村長）>

ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありますか。

<多田教育委員>

たくさんの写真とか、構成デザインもすごくすてきで分かりやすく、とてもよかったです。この2ページ目の上の段の特別外国語活動を、毎週金曜日にやっていると説明を聞きましたが、これは、飛島独自の活動だと思いますが、どういった内容、どういった活動なのか具体的に教えていただければと思います。

<事務局（教育課主幹）>

各学年の英語の授業は、専科の教員とALTで行っていますが、特別外国語活動の授業は、3年～6年の担任とALTで実施しています。ゲーム形式で授業を進めたり、歌などを行ったりしてより英語を楽しむ活動となっております。

<多田教育委員>

毎週金曜日、1時間って感じですか。

<事務局（教育課主幹）>

はい、月1回の実施となります。

<太田教育委員>

生涯教育課が行ってる英語教室ですが、うちの子どもたちも楽しく参加させていたでいるのですが、去年よりも子どもの数が増えたような、多くなったような気がするのです。去年から継続されてる方はどれくらいいらっしゃるのか。現在何人くらいいらっしゃるのか教えていただけますか。

<事務局（生涯教育課長）>

今年に関しましては31人の子が参加しており、昨年26人でしたので、5人増えているという状況です。昨年の後期から、そのまま継続してる子が17人いますので、中学生に関しては、およそ半数ほど昨年後期に受けている子が継続していただいております。

<太田教育委員>

ありがとうございます。すごく楽しく参加させていただいているので、ぜひ、このまま続いていけばと思っています。あともう一つ、いいですか。

昨年度から、オンライン英会話が行われていますが、8割以上の生徒が楽しく、高学年や中学生も楽しいと言っています。英語アプリは、発音に力を入れたアプリとなっているので、このまま続けていただいて、子どもたちの英語力が上がっていってくれるといいなと思います。

A L Tの先生も気軽に話しかけてくれるので、とても親しみやすく、自然に英語と触れ合う活動をしてくれるので、こうした活動を通してグローバルな人材の育成につながってもらえるとありがたいです。

<議長（村長）>

今の発言に、事務局、答弁はないですか。

<事務局（教育課主幹）>

A L Tの先生は、日本語が堪能なので、日本語で答えることもできるのですが、飛島の英語教育をよく理解していただいているので、必ず英語のみの応答で、日本語は分からないということにしてみえます。また、子どもとのやりとりの中で、飛島の子の聞く能力はすごい高くなっていると評価してみえます。小学校や中学校で習うような英語よりも、より高いレベルの単語とかも、ある程度その説明の中で、聞き分ける力がついているそうです。シャイなところで発信することが少し出来ていない部分はありますが、そういった力がついています。英語アプリを使うことによって、楽しみながらやれて判定も出るのも、何回も何回も英語でしゃべって、繰り返し取り組んでいる子がたくさんいるというのは、自分が4月から見ていてすごいと感動したところです。あと、アプリについては、音声子ども用の音を拾いやすいように、大人の声とは違う波長に調節することができるそうです。子ども寄りに設定をされているので、そういった工夫もできるアプリになっているため、非常に英語学習には向いています。

<服部教育委員>

英語の方も、こうやってコンピュータを使いながら一生懸命やってみえるなど。オンラインとか、アプリに関しては、自分がやることになったら全然分からないですけど、若い先生たちはすぐ入っていくのだろうけど、そういうオンラインのセッティングとか、ソフトの分からないところ、使い方の分からないところは、コンピュータの専門の講師の方が学校に時々来てくれていましたが、飛島はコンピュータを職員に教えていただけ

るような講師はどうなっていますか。

<事務局（教育課主幹）>

I C T支援員が必ず1名いますので、その方で対応してくれているので、学園では困らずに教員も使えています。このE C CアプリについてはQ Rコードを読みこんでしまえば、タブレットで使用することができるので、持ち帰っても簡単に家庭でも使えるというものになってます。

<服部教育委員>

端末だけでなく、そういう講師の方の配置を常設して、毎日行ってくれるというだけでも安心できるので、それもまたお願い出来たらなと思います。

<教育長>

現在は、週2回になります。

<服部教育委員>

週2回で十分ですので、継続して配置をお願いします。

<議長（村長）>

他はよかったですか。私もよく飛島学園へお邪魔するようになったのですが、肌感覚で明らかに子どもたちの英語力が上がっていることを感じますし、タブレットを使うことによって随分幅が広がったなと思っております。子どものために非常に役に立っているということを実感しております。

それでは、次に移ります。(3)、「休日部活動の地域移行について」説明を事務局からお願いします。

(3) 休日部活動の地域移行について

<生涯教育課長>説明

<議長（村長）>

ただいまの説明について、ご意見、ご質問があれば、ご発言をお願いします。

<太田教育委員>

休日ですが、他校との練習試合や大会などは休日に行うことが多いと思います。そういうときは今まで顧問の先生が指揮をとっていたのですが、もう全部、委託の指導員の先生が行うことになりますか。

<生涯教育課長>

外部に出る活動につきましては、学園の部活動という形になりますので、大会等は基

本的には顧問の方が中心となって引率していただきます。外部指導員につきましては、取組の時間内で活用させていただいて、審判等も対応できると聞いております。詳細についてはまた今後、打合せをする予定となっております。

<服部教育委員>

運動部活動の顧問の先生と、外部指導者の方と連絡を密にしていくという話があったのですが、とても大切なことです。どういう方法で密に連絡を取り合っていくのでしょうか。

<生涯教育課長>

休日の外部指導員の報告や様子を実際見ている統括指導者の方が、平日、学校側と情報共有を図って、平日の練習とのすり合わせなどの連携を密にしてやっていきます。そういったことの打合せも今後進めてまいります。

<服部教育委員>

担当の先生が、総括の方に聞くってということですね。分かりました。

<議長（村長）>

他に、ございませんか。ないようですので、次に、(4)、「文化協会スポーツ協会の活性化について」の説明を事務局からお願いします。

(4) 文化協会・スポーツ協会の活性化について

<生涯教育課長>説明

<議長（村長）>

ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありますか。

<多田教育委員>

文化協会もスポーツ協会も、少しずつ人数が増えているとありますが、どの団体が増えたか、教えていただければと思います。

<事務局（生涯教育課長）>

文化協会につきましては、先ほどの規約の改正も伴いまして茶道クラブが11名増。また、クラブトバンドクラブが9名増となっています。その他、少し減っている団体もありますが、トータルで18名が増加という形でした。またスポーツ協会に関しましては、先ほども説明が少しありましたが、陸上競技協会に昇格したことで、それに伴って28名増、それからソフトテニス協会も9名増となっています。また、軟式野球連盟が、少し団体が減ったということで、25名減といったことで、トータルで19名が増となっているといった状況です。

<多田教育委員>

文化協会の民謡クラブが、学園で盆踊りの指導を行ったと伺いましたが、子どもたち、生徒の反応がどうだったのかというのと、1年生から9年生まで全員に教えたのか、それから、来年度以降も続けるのか、あわせて教えてください。

<事務局（生涯教育課長）>

今回対象とさせていただいたのは、学園の1、2年生の子です。当日は「とびしマン」も一緒に参加して盛り上げていただきまして、熱心に、楽しそうに練習しておりました。今週ある夏祭りにも、なるべくたくさん子どもたちに参加していただけるように、放送等もして盛り上げていこうと思います。この活動につきましては民謡クラブの方たちも、子どもたちに伝えていきたいということで、とても喜んでいらっしやったので、この活動は続けていきたいと考えています。

<多田教育委員>

各クラブの意見を聞いていただいて、力強いご支援をしていただいて、生涯教育課の方たちには本当にいつもお世話になっているので感謝しております。私事ではありますが、ビーチボールバレーをやっているのですが、ビーチボールバレーが3年ぶりに体験教室を開催しまして、50名ほど参加してくれました。これをきっかけに、入会者が増えるといいなと思っているのですが、今年度は、学園を卒業した生徒さんが3名と、友人1名の4名、新しく入部していただきまして、もともと、ビーチボールバレーに登録しているおじいちゃん、おばあちゃん、それから親と、その子どもさんという形で、祖父・祖母対子とか、親対子、母親対娘の戦いとか、そういう練習とかも出来ていまして、多世代交流が来ています。何年前ですが、飛島学園の文化祭ではいろいろな種目という文化に触れたりとか、スポーツに触れたりして交流がありました。地元の方たちが、指導者となって、生徒たちに体験していただく機会があったのですが、ビーチバレーボールもすごく人気があったのですが、近年やられていないようで、せっかくの交流が途絶えてしまって残念だなと思います。今後、学園の生徒さんと、スポーツ協会や文化協会の活動を一緒にできると良いと思いますので、ぜひご検討をお願いします。

<事務局（生涯教育課長）>

頑張ってます。

<服部教育委員>

自分もバドミントンをやっているのですが、最近本当に、お母さんが自分の子ども、中学生とか小学生をいっぱい連れてくるようになって、片面だけではちょっと面倒見切れなくて、もう一つのコートを使っているところです。空いてるスペースを少し貸してもらい、そこで小学生はバドミントンをやらせておりますが、やはり子どもたちはバドミントンが好きだな、自分もどこかで指導しようかなと思います。教えるのは、やっ

ぱり自分もやるから難しいなと思いながら、そういうことを考えると、先ほどの、部活動の地域移行に関しても、やっぱり今は、学校に現在ある部活動で組み立てられていて、本来は、自分がやってみたい、例えば男子のバスケット部はないですが、バスケットをやりたいとか、そのように子どもたちがやりたいという活動に変わっていくのかなということを思いながら見ていました。やはり、地域の方がもっと受皿を頑張っけて多くして、文化協会とかスポーツ協会のほうが、もっと小学生とか中学生に目を向けて、規約を変えていくというようなことはすごく大事だなと思います。そうすればまた、部活の地域移行も、もっとうまく進んでいくのかなと思うので、よろしくお願ひしたいと思います。

<太田教育委員>

話を戻してしまうのですが、盆踊りの指導を1年生にされたということですが、昔は海外研修に行くために8年生の子たちが練習していたと思います。コロナの時に多分、指導が抜けてしまった学年があり、ずっと何も活動してない時期があったので、ぜひ中学生にも日本の文化である盆踊りを伝えて、継承していただけたらなと思います。

<事務局（生涯教育課長）>

今年に関しては、学園との調整もありましたので、まず1年生から、小さい頃から教えていくと、舞台の上にも上がってもらいやすいということから始めさせていただいて、これが続いていくといいのかなと思っております。今後も調整ができれば進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

<議長（村長）>

忌憚のないご意見をありがとうございました。

それでは、3、連絡報告事項に移ります。村長部局より、村の取組等について連絡等ございますか。

3. 連絡報告事項

(1) 村長部局より

<総務部長>

今年度、飛島村の観光交流協会で開催をさせていただきました「とびしま宵あかり」につきまして、お礼とご報告をさせていただきたいと思ひます。この「とびしま宵あかり」ですが、観光交流協会の夏の新しいイベントとして、今年度から開催をさせていただきました。内容につきましては、6月1日から45日間ほど開催をさせていただいたものです。もう既にご存じの方も多いかとは思ひますが、役場の南側のところで、約550個の風鈴に願ひを書いた短冊をつけ、それをLEDの照明と共に、夜はライトアップをさせていただくという形で実施をさせていただきました。この願ひを書いていた短冊ですが、飛島学園の生徒の皆さんに加えて、能登半島の地震がありました輪島市の在住している小学生の子たちに短冊を書いていただひて、展示をさせていただきました。

その期間中ですが、2日間ほど、ナイトマーケットも開催をさせていただきました。このナイトマーケットも含めまして、大変多くの方にご来場いただき、好評をいただいた事業となりました。ぜひ、こういった形のものを、来年度も、観光交流協会としても続けていきたいと思っております。今年度、学園の生徒の皆様、また教育委員会の皆様にご協力をいただきましたことを、この場をお借りいたしまして、お礼申し上げます。また、今後もこういった事業を続けていきたいということ、また、今年度もまだまだたくさん事業も予定しております。その折々で、教育委員会の皆様にご協力をいただければと考えておりますので、重ねてお願いをさせていただきたいと思っております。簡単ですが、総務部からのご報告とさせていただきます。

<議長（村長）>

ありがとうございました。それでは、事務局より連絡、報告事項をお願いします。

(2) 事務局より

<生涯教育課長>

事務局からは、特にございません。

<議長（村長）>

連絡、報告事項についてご質問はございませんか。無いようですので、それでは、本日予定されていた案件は以上でございます。

これで、本日の総合教育会議を終了といたします。

ご協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

<事務局（教育課長）>

進行ありがとうございました。

これをもちまして、令和6年度第1回飛島村総合教育会議を閉会させていただきます。

お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございました。

閉 会